

五月五日

昨夜は思い立って本間俊太郎元宮城県知事の日本魂のデザインを読む。本間氏は刑務所で本当に良く勉強していたのを痛感した。死ぬ気で勉強したのだろう。この本を読む限りでは仏教の哲理を身につけた首長がいても良いのと思うが、彼が再び表舞台に立つ機会があっても良いと考えるが、どうなんだろう。朝食、おむすび、野菜。昼飯、そうめん、野菜。午後妙高寺墓参り。植木屋でバジル、秋明菊、イタリアンパセリの苗を求める。午後、下の庭を手入れ、畑を作ろうと一坪弱の土を掘りおこす。上の畑、つまり屋上菜園に上り、畑の手入れ、及び上の畑の南側に陽除け、風除けの竹スタレをセットする作業に取り組む。屋上菜園のゴーヤは昨年は風でダメだったのが口惜しかったからだ。汗ばむ程に働いてしまい、いささかの満足を得る。十八時迄作業を続けた。屋上菜園のラベンダーは切って、二階に生けても生けても、全然減らぬ位に大株に育った。夕方、一人ビールを飲みながら思い付いてしまったのだが、東北一ノ関辺りに、結城方式で農地を求めて花でも育て、養蜂業でも、ひとかじりするのにも一興かも知れないな。昼は蜜蜂、夜はベシーでJAZZというの、いいだろうな。ま、しかし夢の又、夢だろう。しかし、何年か前、世田谷の家の庭の梅の木に、蜂が大きな巣を作った事を記憶しているから、ここで養蜂はあり得ると思う。まちづくり支援センターで長野のアカシヤの花を主としたミツバチのミツを売っていた事を思い出す。

五月六日

昨夜は昼の作業で疲れて早々と眠ってしまったので、早朝四時に目覚めてしまい、読書。再び休む。曇天、風も無し。屋上でカラスが何かやってる気配あり。

十時研究室。同四〇分大学院レクチャー。十二時半より各種打合わせ。CEMA北京、モスクワプロジェクト等々。二十二時世田谷村に戻る。

五月七日

十一時世田谷村発。屋上にセットした筈の日除けのスタレがもう一部崩れている。これ位の事がチャンと出来ないで、良く建築家だなんて言ってもらえるなと我ながら啞然とする。十三時研究室ゼミ。十八時迄。基本的には学生から新しい問題は提起されぬ空漠さはあるが、期待しても仕方ない事はある。銀河鉄道計画を割りふったMOの学生から思いもかけぬ誠実な応答があった事だけが救いであった。十八時半過原宿、しゃぶ膳紫波へ。松坂屋東京店長となつた山田日出男氏と本当に久しぶりの再会。名古屋世界デザイン博ガウディの城以来の再会である。積もる話しをる話し合う。山田氏は昨年病から奇跡的に立ち直り、今、銀座の松坂屋店舗を中心とした銀座再開発の責任者として頑張っていると言つ。一度死んだ体だからケチな考えを捨てて、銀座再開発をやってみるといふ覚悟のようだ。自然に再び一緒に何か出来たらいいねの話となる。二十二時前散会。良い再会であった。二十時半頃世田谷村に帰着。